



# 地域防災の担い手へ 防火・防災のアプローチ 「それゆけ！キッズ消防隊」



## 神奈川県 横浜市消防局

事例類型	Ⅳ他団体との連携／Ⅴ人材育成／Ⅵ広報活動
取組期間	平成 29 年 12 月から

### 背景

総務省消防庁によると、平成29年の全国における建物火災の件数のうち、住宅で発生した火災が最も多く、53パーセント（横浜市は65%）を占めている。

また、建物火災のうち、約84%が住宅で亡くなっており、多くは65歳以上の高齢者となっている。

住宅火災の出火原因を見ると、上位は「こんろ」「たばこ」「ストーブ」の順であり、原因に特化した住宅防火対策の普及啓発が必要である。

少子化が加速する中、地域防災の担い手となる子供たちの防火・防災教育は、ライフステージに応じて「自助」から「共助」への継続した啓発が必要である。

特に、未就学児に対しては、楽しみながら防火・防災を学び、興味を持ってもらう工夫が求められる。加えて、住宅防火対策の普及啓発にあたり、なかなか地域の防災指導や防災訓練に参加できない又は参加する機会の少ない子育て世代の方々へのアプローチも課題である。

### 内容

#### 1. 未就学児向け火災予防ソング「それゆけ！キッズ消防隊」の制作

未就学児の防火・防災教育のアイテムとして、住宅火災の原因の上位である「たばこ」「こんろ」や「火遊び」を歌詞に取り入れた火災予防ミュージック「それゆけ！キッズ消防隊」を作成した（作詞・作曲・歌：消防職員、振付：市立保育園保育士・園児、イラスト：市立保育園保育士）。

また、動画DVDを作成し、各消防署をはじめ、市内の市立保育園（77対象）及び区内の私立保育園や幼稚園、小学校の放課後教室（100対象）に配付するとともに、動画共有サイトにアップロードしている。



【保育園での「それゆけ！キッズ消防隊」発表会の様子】



【「みんな森の仲間とオオカミのサイレン」朗読会の様子】

#### 2. 火災予防オリジナルストーリー「みんな森の仲間とオオカミのサイレン」の制作

「それゆけ！キッズ消防隊」をモチーフとした、火災予防オリジナルストーリー「みんな森の仲間とオオカミのサイレン」を消防職員が書下ろした。

物語では、こんろや火遊びによる火災への注意喚起や住宅用火災警報器の設置促進のほか、災害時には、みんな（地域）で協力することの大切さ（共助）や訓練の重要性を啓発する内容としている。

オリジナルストーリーの朗読会を通じて、子供たちが創造力や社会のルール、生きる上での教訓を学び、防火防災教育の動機付けをすることができる。

なお、今後は、絵本を制作し更なる普及に繋げていきたいと考えている。

#### 3. 具体的な広報普及の取組

- （1）保育園等の防災指導のメニューや大規模店舗でのイベント等で、消防職員や消防団員が歌とダンス、朗読会をセットで実施し、子供から保護者まで幅広い世代の方々に住宅防火対策の普及啓発を行っている。また、防災指導やイベント等に参加した子供たちには、火災予防の約束事を記載した「キッズ消防隊隊員証」を交付している。
- （2）キャラクターをモチーフにしたグッズ（ペーパークラフト、のぼり旗、缶バッジ等）を活用するほか、大規模店舗の大型ビジョンやエフエム放送局での放映、区役所や様々な企業の協力により、公共施設やバス、駅舎等にポスターを掲出するなど、様々な広報施策を推進している。



### 成果

#### 1. 防火・防災意識の動機づけ

火災予防ソングは、軽快なリズムと覚えやすい歌詞、振付けとし、オリジナルストーリーは、キッズ消防隊をモチーフに、親しみやすく、分かりやすい内容にしたことにより、保育園等でのカリキュラムに取り入れられている。

また、防災指導や地域の夏まつり、イベント時に、消防職員や消防団員と一緒に子供たちが楽しそうに歌って、踊ってくれるなど、効果を実感しており、子供たちが、地域防災の担い手として、防火・防災に対する意識を向上させるきっかけとなっている。

#### 2. 動画視聴回数

令和元年5月1日現在で動画共有サイトの視聴回数が150万回を超え、多くの方々から関心を持たれている。また、他都市の保育園等からも動画を見て、ダウンロードして活用したいとの問合せをいただくなど、広がりをみせている。

#### 3. 子供を通じて保護者等へのアプローチ

このオリジナルソングとストーリーは、子供を通じて、保護者やあらゆる世代の方々へのアプローチとなっている。保護者等からは、「子供がそれゆけキッズ消防隊を大好きで毎日のように動画を見ています。」「朗読会は楽しかった。また、参加したい。」「子供からこんろの点けっ放しはダメだと言われます。」などの感想をいただいております。火災予防に対する意識喚起に繋がっている。

#### 4. 女性消防団員の活性化

この事業を女性消防団員が保育園やイベント等で行うことで、女性消防団が地域で活躍する機会が増え、モチベーション向上につながっている。

#### 5. 職員力を地域力に活かす

すべてが手づくりによるこの事業は、職員のアイデアや個々の能力が活かされているだけでなく、保育園や区役所などの他部署や住民ともタテ・ヨコ・ナナメにつながり、ともに創りあげていることに特徴がある。何よりも事業に関わる多くの職員や消防団員等が楽しみながら事業を進めていることに大きな意義を感じている。